

地域活動

伏見で行われる行事やイベントに出席して、皆さまの活動の様子を拝見するだけでなく、府政に対する要望をお聞きするように努めています。姿を見かけましたら、お気軽に声をかけてください。

お寄せいただいた要望

子どもたちが車道に出て危険 通学路の信号機を 移転してほしい

伏見板橋学区の見守り隊の皆さんから、歩道上の信号柱を移動してほしいという要望をいただきました。歩道は通学路として利用され、学校へ向かう小学生と中学生がすれ違います。しかし幅が狭く、雨の日に傘



見守り隊の皆さんと現場を確認。傘を持つと柱が邪魔で歩きにくいことがわかります

をさして歩くと、お互いの道を譲り合わなければ通れません。また信号機の柱と電柱が狭い間隔で立っているところがあり、子どもたちが車道に出て歩かなければならず、何度も危険な目にあっているそうです。

見守り隊の皆さまと現場を視察し、伏見警察署や京都府警の担当者、土木事務所などに話をしました。その結果、現在、信号器機の老朽化に伴って市内の信号機や柱の取り替え工事を順番に行っており、この工事に合わせてN.T.T.の電信柱に添わせるように移動させる方向になりました。

また横断歩道用の信号機の青点灯の時間が短いとの意見もありましたので、通学時間は

5秒間延長するように調整してもらいました。他の地域で同じようなお悩みがありましたらご一報ください。

お寄せいただいた要望

子ども見守り隊活動の支援 必要なものを支給 してほしい

「見守り隊への支援物資は、画一的なものではなく、それぞれの地域のニーズに応じた対応してほしい」という声が以前から、地域の皆さんから上がっていました。そこで柔軟な対応をしてほしい、と議会の一般質問等で申し上げてきました。その結果、平成20年には、「醍醐はひとつ」の合言葉のもと、醍醐10校区全体でお揃いのポロシャツを作成するにあたり、支援してもらいました。

また青色防犯パトロールカーの活動も、当初は小学校単位でしたが、中学校区単位に変更して広い範囲で



醍醐10校区の見守り隊のパレードに参加しました



気軽にお声をかけてください

府政ホットニュース

障がい者の作品を常設展示・販売 はあとギャラリー in Rubino

昨年6月、ルビノ京都堀川ホテルに「はあとギャラリー in Rubino」がオープン。府立特別支援学校で生徒たちが作った陶芸や絵画作品を展示しています。誰でも自由に観覧でき、ホテルを訪れた方にも大変好評なようです。また希望者に販売できるようにすればと提案したところ、ホテルのご厚意で販売の実施が決ま



本府府立特別支援学校

府職員ボランティアと府民の 協働で京都の落書きをなくそう

府職員ボランティアが「京都府庁落書きバスターズ」を結成。地域の方や大学生、ボランティア団体との協働により、まちの落書きを消していきます。これは「割れ窓理論」の実践で、小さな犯罪の芽を摘むことで大きな犯罪を抑止することを目的としています。



知事と一緒に落書き消しに参加

美しい自然を取り戻そう 大岩山(深草)二斉清掃活動に参加

地域住民と行政の協働で、大岩山の不法投棄ごみの回収作業と清掃活動が、昨年3月から5回に渡って行われ、わたなべ



邦子も参加しました。多くの皆さまの活躍のお蔭で大岩神社参道から兜山町付近まで約3キロが美しい姿を取り戻しました。

一般質問

質問 安心・安全なまちづくりについて 子ども110番の家 新設交番の設置状況



府民を代表して京都府に質問しています

わたなべ 子どもの安全を見守るために設置された「子ども110番のいえ」の中には、留守がちになるなど、登録後の変化もある。新たに登録を増やし、定期的な見直しが必要である。また伏見の交番設置の進捗

状況を教えてください。警察本部長 「子ども110番のいえ」は10月末で約4万2000箇所を設置。子どもたちが作る安全マップの作成、子どもが安全を確認するウォークラリーの実施、駆け込み訓練の実施

を通じて、「110番のいえ」の周知を図っています。また点検や見直し、設置拡充にも努めています。伏見区の交番再編整備は、すでに稲荷と砂川を統合。淀南交番(仮称)の新設は、平成21年春開設で進

性理解が十分でないため、今後も各方面に働きかけていきます。歯科検診は、医師を配置し、中小企業でのセミナーや検診を実施。市町村での特定検診に歯周病の項目が含まれるように国に要望します。

障がい者の歯科治療では、歯科医師会も全身麻酔の診療を見直し、麻酔医の確保や施設のあり方を検討されているので、府も話をよく聞いて対応していきます。

質問

歯の健康について フッ素で虫歯予防。全身 麻酔で障がい者負担軽減

わたなべ 府ではフッ素による子どもの虫歯予防に取り組んでいる。効果が出ていない市もあれば、これをためらう市町村もある。府としては推進すべきと思う。また、成人の口腔の定期検診のシステムづくりが必要

障がい者の歯科治療で、

質問

フィルムコミッションについて 映画やテレビの撮影 誘致で地域の活性化を

わたなべ 平成14年に設立した「舞鶴フィルムコミッション」は、舞鶴の観光振興に大きな役割を果たしている。府内にはロケ地になる所が数多くあるが、うまく調整できていない。フィルムコミッションを核とした観光振興、地域の活性化に取り組む市町村への支援が必要と考えるがどうか。

山田知事 京都は撮影所もあり、ロケの実績も多い地であることから、これらとの関係を整理するシステムが必要になります。ただ一度限りの撮影で地元との信頼関係が損なわれる心配もあります。そこで撮影を希望する映画会社と市町村をつなぐ窓口を、京都府観光連盟と連携して設置して



いきたいと考えています。府のホームページでは、自然風景や街並みなど73カ所を「ロケスポット情報」として紹介。将来的には府全体をコーディネートできる組織を進め、観光の振興、地域の活性化を積極的に推進したいと考えています。

※映画やテレビの撮影場所の誘致や支援を行う公的機関